

評価の観点	創意工夫	題材	歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう（2学年）	実践日時	R1.10.18
-------	------	----	-------------------------------	------	----------

本時のねらい 旋律の動きから、強弱に注目することで、ふるさとへの思いが広がる感じを表現するためBの歌い方を工夫することができる。

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

導入

【手立て①：表現に対する願いやそれに近付けるための見通しをもたせる導入の在り方】

- ・教材を通して使う拡大譜を使い、前時の学習で感じ取った内容を全体で確認する。
- ・本時工夫する視点に気付かせるために、自分のパートの旋律の動きと他のパートの旋律の動きの特徴を見付けさせ、内容をつかみやすくする。



展開

【手だて②：自分とは違う感じ方や考え方を見付け出し、音楽の要素を窓口さらに、感じ方を深めていける交流の在り方】

- ・個人の感じ方や考え方をまとめる時間を確保する。
- ・自分の感じ方や考え方を周りの仲間と交流する時間を確保し、全体交流をする。
- ・工夫したことは、合唱して確かめながらさらに工夫する、という流れで行う。合唱するときは、各パートの代表者が前で願う表現に近付いているかどうかを聴きアドバイスをする。そこからさらに工夫し表現を高めていく。

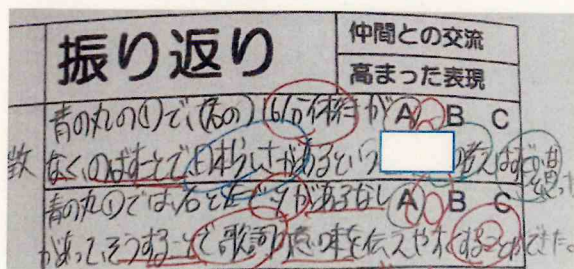


終末

【手だて③：客観的に自己を見つめ、感じ方の深まりを実感させる評価の在り方】

- ・工夫し演奏しながら表現を高めていく過程で、仲間の音楽的な見方・考え方に触れることで、広がった音楽的な見方・考え方を振り返る。
- ・本時の課題について、どんな工夫ができたか、その結果どんな歌い方ができたかを振り返り、課題に対する達成感を実感できるようにする。

<板書、生徒の作品、ノートなど>



授業後の振り返り



題材を通して使う拡大譜


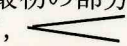

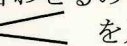
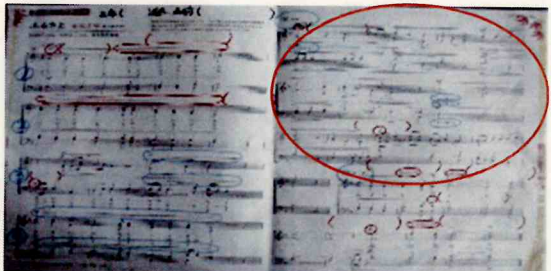
**題材名**

2年生 歌詞と旋律の関わりに注目し、表現を工夫して歌おう。

**本時のねらい**

旋律の動きから、強弱に注目することで、ふるさとへの思いが広がる感じを表現するため[B]の歌い方を工夫することができる。

**本時の展開 (7/8)**

生徒の学習活動	評価規準・研究との関わり
<p>1, 前時までの学習を振り返り、本時の学習の目標を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時は、Bの旋律の動きに合わせて  を工夫して、ふるさとの大きさを表現した。</li> <li>[B]の後半がまだ工夫できていない。</li> </ul> <div data-bbox="108 555 896 645" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ふるさとへの思いが広がる感じを表現するために[B]の後半の歌い方を工夫しよう</p> </div> <p>2, 願う表現にするための手だてを見付け、学習の見通しをもつ。</p> <p>① 旋律の動きを確認して、歌い方の工夫を見付ける。</p> <p>② 後半は全部のパートがL aの歌詞になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後は全部のパートがfになっている。自分のパートでは、どのように歌うとよいだろうか。</li> </ul> <p>3, 自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私はアルトだから、最初の部分はm pで歌って、最後のソプラノの上行に合わせて、  を入れたい。</li> </ul> <p>4, パートで、歌い方の工夫をする。</p> <p>① 個の考えを交流し、表現の工夫をまとめる。</p> <p>② 工夫が伝わるように聴き合い、表現を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソプラノは最初はm fで美しく歌って、途中のfもm fから旋律の上行に合わせて  していく。</li> <li>アルトはm fで歌い始めて、途中の旋律の下行や上行もそのまま歌って、最後の2つの音でfにする。</li> <li>テノールは、m fで歌い始めて途中の旋律の上行に合わせてfにする。最後の上行ももう少し大きくする。</li> <li>バスはm fで歌い始めて、最後の旋律の下行に合わせてfにする。</li> </ul> <p>5, 「ふるさとへの思いを広げる」という視点で、全体交流をする。</p> <p>① 各パートで工夫したことを交流する。</p> <p>② 工夫したことを合唱で表現できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>願う表現に近づいているか聴き合いながら、表現を高める。</li> </ul> <p>6, 全体で最初から合唱をして、願う表現に近づけたかどうかを確認する。</p> <p>7, 仲間の感じ方や考え方の良いところを交流する。</p> <div data-bbox="108 1729 890 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[B]の前半は、旋律の上行・下行に合わせて強弱を入れることで、心の揺れを表現できたように思う。でも後半は、旋律の上行・下行に全部合わせるのではなく、最後の部分で全部のパートと一緒に  を入れることで、さらに3番に向けて強い意志や決意を表現できたと思う。</p> </div> <p>8, 教師による評価を聴く。</p>	<p>・前時までの学習内容が書き込まれた拡大譜で確認する。</p>  <p>・[B]の部分の旋律の動きを分かりやすくするために、[B]の拡大楽譜を準備する。</p> <p>・3番の「決意」を表現したい思いにつなげるために、[B]の最後をどのように歌うとよいかを、工夫するように声をかける。</p> <p>・「パート練習」の時間配分を自分たちで考える。</p> <p>・パートごとに工夫したことを書き込める拡大楽譜を準備する。</p> <p>・聴き役を立てて、願う表現に近づいているかどうか確認するように、声をかける。</p> <p>・交流するときの視点を確認し、演奏後の交流が深まるようにする。</p> <p>・聴き役を立てて聴き合う。</p> <p>・録音をして、できれば聴いて確かめる。</p> <div data-bbox="922 1930 1465 2078" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>評価規準</b>  <b>【創意工夫】</b>          ふるさとへの思いが広がる感じを表現するために、[B]の歌い方を工夫している。</p> </div>

評価の観点	鑑賞	題材	音楽の特徴を文化・歴史や他の芸術と関連付けて味わおう (3年生)	実践日時	R2. 12. 1
-------	----	----	-------------------------------------	------	-----------

本時のねらい 時代背景や人々の暮らしを知ることを通して、スメタナの祖国に対する思いと音楽との関わりを感じることができる。

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：本時の課題につなげるための前時の内容確認】

(全体交流)

- 前時は「2つの源流」について、水の速さや水質・流れる音からブルタバ川の様子をじっくり味わった。それを思い返すことで、ブルタバ川の源流にまでこだわったスメタナの想いにつなげることができる。

【手だて②：ブルタバ川の旋律を確認する】(全体交流)

- ブルタバ川の旋律の動きを知る活動を通して、スメタナの想いを膨らませる。独立を願いながらも弱気になっている気持ちの揺らぎを感じ取れるようにする。

【手だて③：3度現れるブルタバ川の旋律の違いからスメタナの想いを深める】(個人追求)

- 1・2回目の旋律の裏に「2つの源流」が使われていることを全員で聴き取り、なぜ「2つの源流」を使ったのかを個人追求する。
- さらに3回目で旋律が大きく変化することで、スメタナが強く伝えたかったことにイメージを膨らませる。
- ねらいに迫るまとめを教師が紹介し広める。

手立て①

●曲が強く情景とオーケストラの楽器の使われ方、作曲の工夫の関わりは？  
一曲が描いている景色と楽器の使い方や作曲の工夫についてキーワードをヒントに教科書の楽譜や資料から想ったことをまとめ、班で意見交流しよう。

①ブルタバ川二つの水源(キーワード:「水」「水源」「二つ」)

「水源」から連想すること 細い流れ、ゆくり、静かな  
「水」から連想すること 静か、涼しい (大きな音、流れる音など)

この部分のどのようなところがどうしてブルタバの「二つの」「水源」に聞えるのか?  
この部分の異なる部分に使われている記号、演奏する楽器などに注目してまとめてみよう

自分の意見を聞いて「いい」「なるほど」と思った意見をメモしよう。

②ブルタバ川を流す旋律(キーワード:川の流れる)

川の流れるから連想すること 静か、涼しい (大きな音、流れる音など)

この部分のどのようなところがどうして「ブルタバ」に聞えるのか?  
自分の意見を聞いて「いい」「なるほど」と思った意見をメモしよう。

手立て③

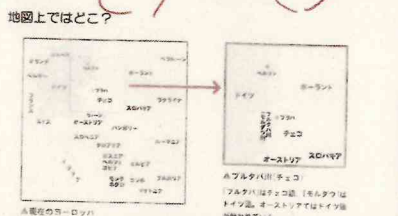
【スメタナがこの曲に託した思いはなんだろうか?】

・チェコはオーストリアに属していた。  
・「わが祖国」を作曲する時にオーストリアに属していた。  
・ブルタバ川はオーストリアに属していた。  
・スメタナはオーストリアに属していた。  
・スメタナはオーストリアに属していた。  
・スメタナはオーストリアに属していた。

<板書、生徒の作品、ノートなど>

スメタナ作曲 選作文楽詩「我が祖国」から **ブルタバ (モルダウ)**

この曲の... 3年 2組 氏名 浅田 心  
作曲者名 スメタナ 出身国名 チェコ



●文楽詩とは?  
一ハンガリーの作曲家フランツ・リストが、音楽外の文学的あるいは絵画的な内容を表現する管弦楽曲のジャンルとして新たに「交響詩」という言葉を創り、曲に付けた。一交響詩の始まり

【スメタナがこの曲に託した思いはなんだろうか?】

・チェコはオーストリアに属していた。  
・「わが祖国」を作曲する時にオーストリアに属していた。  
・ブルタバ川はオーストリアに属していた。  
・スメタナはオーストリアに属していた。  
・スメタナはオーストリアに属していた。

●曲が強く情景とオーケストラの楽器の使われ方、作曲の工夫の関わりは？  
一曲が描いている景色と楽器の使い方や作曲の工夫についてキーワードをヒントに教科書の楽譜や資料から想ったことをまとめ、班で意見交流しよう。

①ブルタバ川二つの水源(キーワード:「水」「水源」「二つ」)

「水源」から連想すること 太い流れ、太く、静かな、水の音  
「水」から連想すること 静か、涼しい (大きな音、流れる音など)

この部分のどのようなところがどうしてブルタバの「二つの」「水源」に聞えるのか?  
この部分の異なる部分に使われている記号、演奏する楽器などに注目してまとめてみよう

自分の意見を聞いて「いい」「なるほど」と思った意見をメモしよう。

②ブルタバ川を流す旋律(キーワード:川の流れる)

川の流れるから連想すること 静か、涼しい (大きな音、流れる音など)

この部分のどのようなところがどうして「ブルタバ」に聞えるのか?  
自分の意見を聞いて「いい」「なるほど」と思った意見をメモしよう。

ブルタバ(モルダウ) 作曲者( )

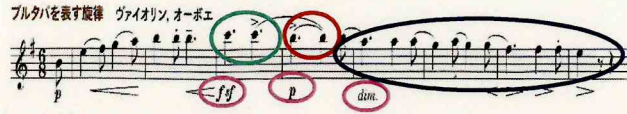
① 楽譜を参考に音楽を聞いて、その情景がどのように表現されているか書きましょう。

①ブルタバ川の情景	
②曲の情景	
③楽器の演奏	
④月の光、水の音の響き	
⑤水の音の響き	
⑥ブルタバ川	
⑦ブルタバ川の情景	

# 1 本時のねらい

- 時代背景や人々の暮らしを知ることを通して、スメタナの祖国に対する思いと音楽との関わりを感じることができる。

# 2 本時の展開 (2/8)

過程	学習内容・学習活動	教師の指導と評価
目標を立てる	<p>1 前時の学習を振り返り、本時の学習内容について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「二つの源流」の二種類の旋律には、支配されたチェコと支配しているハンガリー・オーストリア帝国の二つ、あるいは、独立を積極的に求めるチェコ人と今のままでもよいのでは、と考えるチェコ人とを表現したのではないか。</li> </ul> <p>2 前時と関わらせて本時の課題を考え、活動の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材プリントを居て、前時の内容を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【前時の内容】・スメタナが表現した「二つの源流」は、「支配する国と支配される国」あるいは「独立したいチェコ人と独立に否定的なチェコ人」を表現したのではないか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>チェコの国民の考えがまとまっていない中、スメタナが曲を通して伝えたかったことは何だろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>時代背景からスメタナがこの曲を通して伝えたかったことは何だろう</p> </div>
広げる	<p>3 スメタナの思いと音楽とを関わらせ、スメタナがこの曲に込めた思いを深める (個人追求)。</p> <p>ブルタバを表す旋律 ヴァイオリン、オーボエ</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>「ブルタバ」のモチーフは、大きく2つに分けられる。旋律のフレーズの最後の下がっている部分が、強弱記号もpになっている。</li> </ul> <p>4 感じたことを交流する (全体交流)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「当時の圧制に苦しむ人々の苦しい気持ちや希望は持っているけれど叶えられないのではないか。」という諦めの気持ちが旋律の動きや強弱に現れているのではないかと考えた。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深い学び①】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旋律の動きは、スメタナのどんな想いとつながっているのだろう。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブルタバを表す旋律の最高音 <span style="color: green;">○</span> 一音下がるモチーフ最後の音 <span style="color: red;">○</span> そこから下がる旋律線 <span style="color: blue;">○</span> を拡大譜で示す。</li> <li>強弱記号の変化を <span style="color: red;">○</span> で示し、旋律との関わり、スメタナの思いとの関わりを感じ取れる工夫をする。</li> </ul>
深める	<p>5 3度現れるブルタバ川の旋律から、スメタナがこの曲を通してチェコの国民に伝えたかったことを追求する。(個人追求から交流)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1回目と2回目のブルタバ川の旋律には、旋律の裏に「2つの源流」の旋律が流れている。源流がハンガリー・オーストリアの2つで、3回目はそれがないので、独立する純粋なチェコらしさだと思った。源流が支配だけでなくハンガリー・オーストリアの違う文化が入ってくる上での良い影響もあると思う。そういうことがあることで、チェコが良くなっていくという捉えもできるなと思った。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【深い学び②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『深い学び①』からさらに旋律の特徴を聴き取ることで、スメタナの想いに迫る。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>1・2回目のブルタバ川の旋律の裏側に「2つの源流」の旋律が流れていることを、曲を流しながら確認する。</li> </ul>
振り返る	<p>6 スメタナの祖国に対する思いと音楽との関わりをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ブルタバ川の旋律の裏に源流の旋律を使うことで、美しさや堂々とした姿を保つために、国民の想いが支えとなっていることを伝えている、という考えに納得した。国民の想いについて、色々な捉えができることが、とても面白かった。10年後、もう一度この曲を聴いて考えたら、また新しい捉えができるかもしれない。将来、ぜひ試してみたいと思った。</p> </div> <p>7 教師による評価を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人追求と全体交流で深めたことから、スメタナがこの曲を通して国民に伝えたかったことをまとめる。</li> <li>「2つの源流」の旋律がブルタバ川の旋律の裏に流れている理由をスメタナの想いとをつなげて追求できるように声をかける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準</p> <p>【鑑賞】</p> <p>スメタナの祖国に対する思いと音楽との関わりを感じ取ろうとしている。</p> </div>

評価の観点	知識	題材	歌詞や曲想から 表現を工夫しよう (3年生)	実践日時	R3. 7. 19
-------	----	----	------------------------------	------	-----------

本時のねらい	曲の構造を知ることを通して、曲想と歌詞や曲の背景との関わりを理解を深めることができる。
--------	---

<主体的・対話的で深い学びにつなげる指導について>

【手立て①：見付けたこと、感じたことを交流する】

(個人追求→全体交流)

- ・曲は明るい感じ。小さな女の子がぴょんぴょんはねながら踊っている感じがする。
- ・歌詞の文末が「～よ」という語りかける感じになっているので、全体的に優しい感じがする。

【手だて②：歌詞と旋律・強弱との関わりから特徴を見付ける】(全体交流)

- ・旋律が上がっていくと同時に強弱が強くなっている。
- ・八分休符があることで、歌詞にまとまりを感じる。言葉を伝えたいのだと思う。

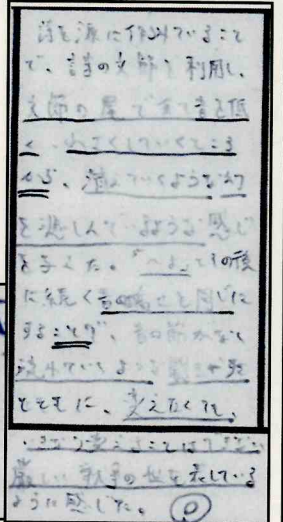
【手だて③：今まで学習した曲と比較して、曲の構造と曲想との関わりについての理解を深める】(全体交流)

- ・「花」も「きみとともに」も八分休符の後は歌詞が強調されていた。でもこの曲の八分休符の前と後の音が同じ音になっているからなめらかで優しく感じるんだ。文末の歌詞の「～よ」や旋律の流れだけではないんだ。八分休符も使い方次第で曲の感じが変わるなんて曲の構成が分かると面白いな。

手立て②



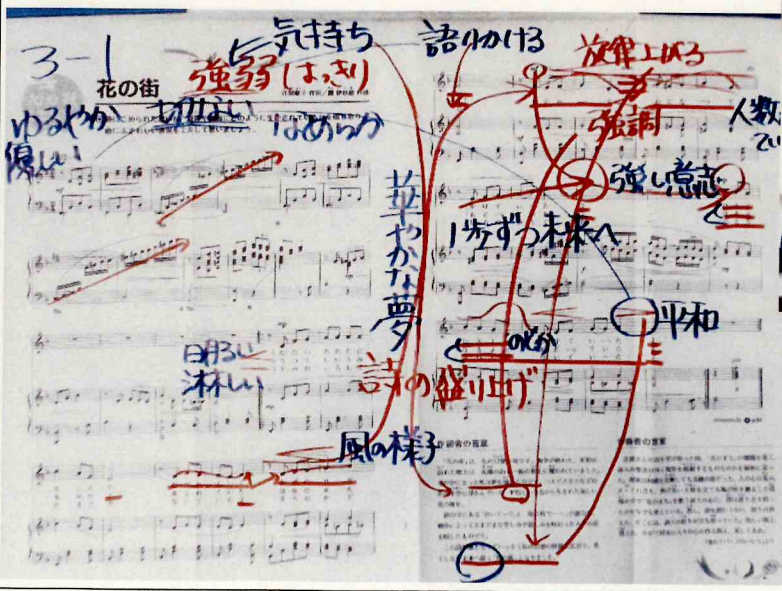
手立て③



手立て③



<板書、生徒の作品、ノートなど>



## 2 本時の展開 (9/11)

過程	学習内容・学習活動	教師の指導と評価
目標を立てる	<p>1 前時までの学習を振り返り、本時の学習内容について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休符と歌詞の関わりは、曲想に大きく影響があったな。</li> <li>・強弱の変化は、曲の構成と関わりが大きいことが分かる。</li> <li>・曲の背景を知ると曲の構造の工夫が納得できる。またそれが、曲想に大きく関わっていることが分かって面白い。</li> </ul> <p>2 本時の課題を考え、活動の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材プリントを見て、既習の内容を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【前時までに積み重ねてきた知識】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞や曲想と音楽を形づくっている要素との関わりは大きい。</li> <li>・曲の背景を知ると曲の構造上の特徴がよくわかる。</li> </ul> </div>
広げる	<p>3 曲を聴いて見付けたこと、感じたことを交流する(全体交流)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲全体がゆるやかでなめらかな感じがする。</li> <li>・歌詞の最後が「～よ」になっていて、語りかけているようで優しく感じる。</li> </ul> <p>4 曲の背景を知り、歌詞と旋律・強弱との関わりから特徴を見付ける(全体交流)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2番の歌詞は空想・願いになっているけど、3番の歌詞は戦後の現実を表わしている。</li> <li>・旋律が上がると同時にだんだん強くなるところから平和に対する強い意志を感じる。</li> </ul>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>八分休符があることで、歌詞にまとまりを感じるから歌詞から平和を伝えたいのだと思う。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲を聴きながら感じたことや見付けたことを楽譜に書き入れるように声をかける。</li> <li>・全体交流で出た感じたことや考えたことを拡大楽譜に記入して、分かりやすくする。</li> <li>・範唱 CD に入っている「江間章子さんの想い」を聞かせ、曲の背景を紹介する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【深い学び①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景や歌詞と旋律・強弱との関わりから特徴を見付ける</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花」と「きみとともに」で学習した拡大楽譜も教室に掲示しておく。</li> <li>・曲の構造と歌詞や曲の背景とを関わらせて考えるように声をかける。</li> </ul>
深める	<p>5 今まで学習した八分休符の役割と比較して、曲想とも関わらせた特徴を見付ける(全体交流)。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花」や「きみとともに」は、歌詞をはっきり伝えるためだったから、八分休符の後の言葉ははっきり聞こえた。でも「花の街」は、言葉がはっきり聞こえるというより全体になめらかな感じがするのはどうしてだろう。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>八分休符の前と後の音を同じにすることで、旋律が流れるような感じになるからなめらかに聞こえることが分かった。なめらかな感じに聞こえる方が、平和な感じが伝わりやすいと思う。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【深い学び②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学習した曲と比較して、曲の構造と曲想との関わりについての理解を深める</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「花」「きみとともに」の八分休符の後の言葉をどのように歌ったかを実際に歌って確認する。</li> </ul>
振り返る	<p>6 一番心に残ったことをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>想いを伝えるために細かな部分にまで工夫がされていることが分かってびっくりした。八分休符は入れるけどなめらかに歌って平和な感じが伝わるように歌いたい。</p> </div> <p>7 教師による評価を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く内容がまとまらない生徒には、本時の学習で分かったこと、音楽的な見方・考え方が深まったことを、拡大譜を見ながら確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価規準</p> <p><b>【知識】</b> 曲想と歌詞や曲の背景との関わりを理解している。</p> </div>